

合格证
QC PASS

深圳市神牛摄影器材有限公司

住所：深圳市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区工場2棟

電話番号：+86-755-29609320（8062） フォックス：+86-755-25723423

メールアドレス：godox@godox.com

godox.com

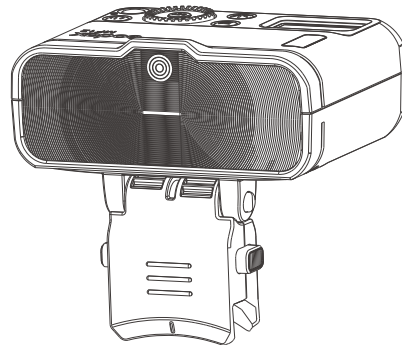
Made in China

FC CE RoHS



Godox

マクロフラッシュ | MF12



説明のパンフレット

目次

02	はじめに
03	警告
04	部品名
	本体
	コントロールパネル
	OLEDディスプレイ
06	標準装備品
06	オプションのアクセサリ
09	電池
10	電源管理
10	スタイリングライト
11	フラッシュモード選択
	TTLオートフラッシュモード
	Mマニュアルフラッシュモード
13	無線 (2.4G)
15	C.Fn:カスタム機能の設定
16	リセット機能
16	強制シャットダウン機能
16	熱保護機能
17	仕様パラメータ
18	メンテナンス

はじめに

神牛製品をご購入いただきありがとうございます！

MF12はミニマクロオートフラッシュです。

機能的には、MF12はTTLモードとM（マニュアル）フラッシュモードの2つのフラッシュモードを備えています。

S1/S2の2種類の光コントロールフラッシュ方式を備えて、追加のコマンド信号や外付けリモコンを必要としないで、直接フラッシュをトリガして、便利で手間が省けます。ライトヘッドに常時点灯のLEDスタイリングライトを搭載し、随時スタイリング光を作り出し、バックライトや照明としても使えます。

構造上、MF12は専門的な光学レンズ設計を採用しており、集光作用がより強く、撮影光効果の均一な分布を確保することができる。本体にはリチウム電池が内蔵されており、充電すれば使用でき、屋外での撮影や旅先での撮影に便利だ。コンパクトで軽量で、操作インターフェースが分かりやすく、ポケットに入れて持ち歩くことができます。このミニフラッシュは動植物、グルメ、宝飾品、口腔画像などの微距離撮影によく応用されています。

主な特長：

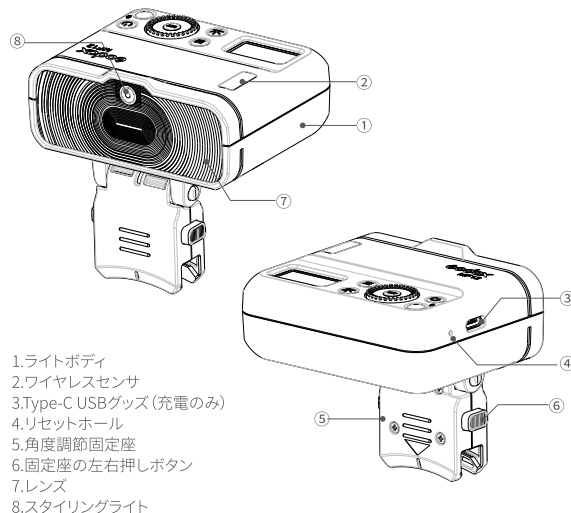
- TTLモードとMマニュアルフラッシュモードを搭載 (MF12はオフマシンのみ使用)
- S1/S2光コントロールフラッシュ方式を備えています
- 常時点灯LEDスタイリングライト搭載
- 専門的な光学レンズを選ぶことで、より均一な光を出すことができます
- 2.4Gワイヤレス内蔵：ライト本体の遠隔コントロールが可能です
- OLED LCD: ディスプレイの画面が鮮明で美しいです
- リチウム電池内蔵、汎用TYPE-C充電ポートを採用します
- フルパワーで約500回フラッシュし、1.7秒でクイックリコイルバック。

⚠ 警告

- ▲ 乾燥したままにしておいてください。
- ▲ 製品を無断で分解しないでください。故障した場合は、当社または認定サービスマンが点検修理を行います。
- ▲ 子供にこの製品に触れさせないでください。
- ▲ 分解、衝突、圧搾、火への投入は禁止されています。大きく膨らんだ場合は使用しないでください。50度を超える高温の環境に置かないでください。
- ▲ 人の目（特に赤ちゃんの目）にフラッシュヘッドを当てないでください。そうしないと、短時間で視覚障害を起こす可能性があります。
- ▲ 化学物質、可燃性ガス、または特殊な状況下でフラッシュライトが発する瞬間的な強い光に敏感で、火災や電磁障害の原因となる可能性のあるその他の特殊な物質の近くでフラッシュライトを使用しないでください。このような場合は、関連する警告表示に注意してください。
- ▲ 本製品は防水できませんので、雨の日や湿気の多い環境では防水に注意してください。
- ▲ 万一故障が発生した場合は、直ちにフラッシュの電源をオフにしてください。

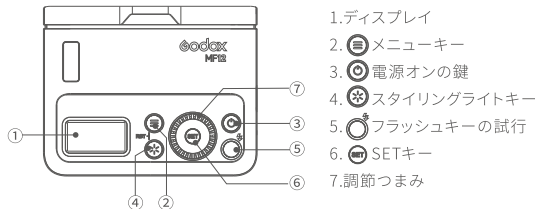
部品名

● コントロールパネル



部品名

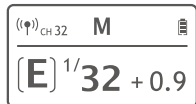
●コントロールパネル



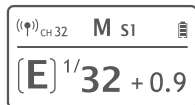
●OLEDディスプレイ



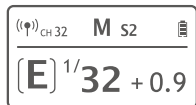
TTLオートフラッシュモード



Mマニュアルフラッシュモード



S1/S2



標準装備品



注:MF122灯セットのアイテムは、上記のほか、マウントリングMF-AR*1、フィットリングセット (8つのフィットリング49mm、52mm、55mm、58mm、62mm、67mm、72mm、77mm) などが装備されています。

オプションのアクセサリ

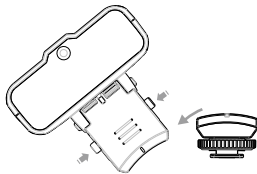
最高の撮影結果と使用感を得るために、以下の写真アクセサリと組み合わせて使用できます:XPro、X1 TTLフラッシャー、X2 TTLフラッシャー、マウントリングMF-AR、フィットリングセット (49mm、52mm、55mm、58mm、62mm、67mm、72mm、77mm)。



部品取り付け

● コールドシューベースの取り付け方

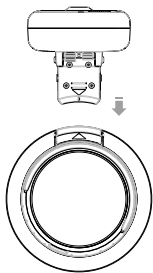
- 1.MF12固定座の左右の押しボタンを押して、コールドブーツ座の端を固定座の端に合わせてスライドして、「カチッ」という音が聞こえてきます。
- 2.冷やしブーツ座をカメラのホットブーツに差し込み、ホットブーツロックリングを回してロックすればいいです。



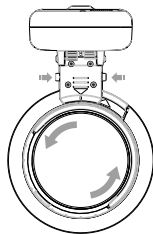
● マウントリングの使い方 (別売)

- 1.取付リングMF-AR上のスライドブロックにMF12の固定座口 (矢印面) を合わせ、スライドブロックを押して進めると、「カチッ」という音がして取り付けられています。

-1個の取り付けリングで6個のライトを取り付けることができます。

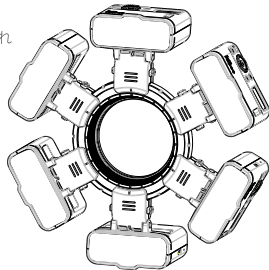


- 2.固定座左右押しボタンを押すと、MF12は取付リング上で左右に回転できます。



- 3.カメラレンズの首輪に合ったフィットリング (8種類の規格49mm、52mm、55mm、58mm、62mm、67mm、72mm、77mm) (別売) を選び、カメラレンズのフィットリングをマウントリングにはめます。

- 4.カメラのレンズにリングを取り付けて固定すればいいです。



電池

● 特長:

- 1.この製品はリチウム電池を採用して、製品の中で統合して取り外しできなくて、耐用寿命が長いです。
- 2.安全で信頼性があり、内蔵回路に過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護があります。
- 3.Type-C USB端子を使って充電すると、1時間以内(約55分)にフル充電できます。

● バッテリ残量の表示:

電気量マーク表示	意義
3格	フル電気量
2格	中等電気量
1格	低い電気量
无格	電気量が少なく、直ちに充電してください。
このアイコンは画面に表示されます 	この状態ではフラッシュ動作はサポートされておらず、10秒後に自動的にシャットダウンされます。 メモ:この状態を使用または設置する前に、できるだけ早く(10日以内に)充電してください。

電源管理

電源スイッチは製品のオン/オフをコントロールします。長時間使用しない場合は電源を切ってください。

自動シャットダウンモードの設定

メニューキーを押し、調節つまみを回してSTBYを選択し、SETキーを押し、調節つまみを回して30min/60min/90 min/OFFを選択します。

自動シャットダウンを設定した後、(30/60/90分)

無人操作を超えると、フラッシュは自動的にシャット

ダウンします。自動シャットダウン時に電源スイッチのキーを押してウェイクアップしてください。電源オンのアニメーションが現れて、調節つまみをスライドして操作できます。

メモ:オフマシンで使用する場合は、メニューC.Fn-STBYで自動シャットダウンをオフにすることをお勧めします。



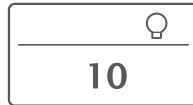
スタイリングライト

1.スタイリングライトを切り替えます:

- 1.1.スタイルキー<  >を短く押して、LEDスタイルライトの点灯と消灯をコントロールします。
- 1.2.スタイリングライトキーを長押ししてスタイリングライト設定画面に入ったときに、SETキーを短押ししてもスタイリングライトの点灯と消灯をコントロールできます。

2.スタイルライトの設定:< >を長押ししてスタイルライトの設定インタフェースに入ります。

- 2.1輝度設定:調整つまみを選択して輝度値を設定して、輝度レベル10級(1-10)。



フラッシュモード選択

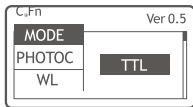
MF12フラッシュは、TTLモード、M(マニュアル)フラッシュの2つのモードがあります。

TTLモードでは、カメラの測光システムが本体から反射してくるフラッシュ照明を検出し、本体と背景の露出が均等になるようにフラッシュの出力量を自動的に調整します。これにより、背景の明度に関係なく被写体を正確に露出させることができる。被写体を強調したい場合や露出補正を行いたい場合は、TTLモードを選択すると役立ちます。M(手動)フラッシュモードでは、絞りとフラッシュ出力を選択します。オートフラッシュモードでは、被写体を撮影するために正確な露出を得ることが難しい場合に、露出とフラッシュの撮影距離をコントロールすることができます。

メニューキー<  >を短く押し、調節つまみをMODEまで回転させ、SETキーを短く押し、最後に調節つまみを回転させてTTLモードまたはM(手動)フラッシュモードを選択します。

● TTLを選択し

TTLを選択し、メニューキー<  >を押してメインインタフェースに戻り、フラッシュはTTLオートフラッシュモードに入ります。

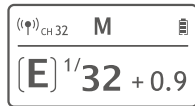


● Mマニュアルフラッシュモード

フラッシュ出力は、1/128から1/1フルパワーの間で0.1ずつの増分で設定することができます。

1.Mを選択し、メニューキー<  >を押してメインインタフェースに戻り、フラッシュはM手動フラッシュモードに入ります。

2.Mモードのメインインタフェースでは、調整つまみを回転してフラッシュ出力を設定することができます。適切なフラッシュ露出を得るには、手持ちのフラッシュ測光計を使用して、必要なフラッシュ出力を決定します。

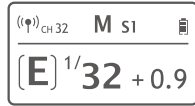
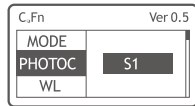


● 光コントロール引火(PHOTOC)設定

M手動フラッシュ設定の下で、メニューキー<  >を押してメニューC.Fnに入り、調節つまみを回してPHOTOCを選択し、SETキーを押して、調節つまみを回してS1またはS2の機能を選択します。

1.S1調光同期起動設定

オプション機能は、フラッシュをサブライトとして使用することができ、手動のフラッシュ環境に適したさまざまな照明効果を作り出すことができます。メインフラッシュの最初のフラッシュと同期してフラッシュをトリガし、ワイヤレスフラッシュを使用するのと同じ効果を発揮します。



2.S2調光プリフラッシング防止設定

S2機能を選択すると、フラッシュはTTLフラッシュ環境に適したサブライトとして使用できます。プレフラッシュ防止機能を備え、プレフラッシュワン機能付きのカメラで調光による同期撮影が可能です。主フラッシュの2回目のフラッシュ、すなわち2回の調光点灯と同期してフラッシュをトリガします。

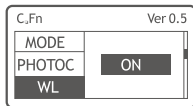
▲ S1/S2調光フラッシュモードは、Mモードでのみサポートされています。

無線(2.4G)伝送

MF12は神牛2.4GワイヤレスXシステムを使用して、本工場XL、XPro、X2フリップフロップと完璧に組み合わせて使用することができます。子機としては、キヤノン/ニコン/ソニー/パナソニック/オリンパス/フジのTTLシステムに対応しており、手動設定を必要とせず、親機に応じて自動的に切り替わる。ニコンのカメラ(X1T-N使用)、キヤノンのカメラ(X1T-C使用)、ソニーのカメラ(X1T-S使用など)は、MF12-TTLを同時に1台以上共有し、シームレスに接続できます！

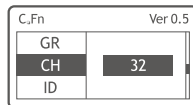
● ワイヤレス(WL)設定

メニューキー<  >を押してメニューC.Fnに移動し、調節つまみを回してワイヤレスWLを選択します。SETキーを押してから調節つまみを回して選択します：オフにするとワイヤレス機能がオフになり、オンにするとオンになります。



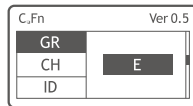
● チャンネル(CH)設定

撮影現場に複数のワイヤレスフラッシュシステムがある場合は、通信チャンネルを変更することで信号の干渉を防ぐことができます。親機と子機とが同一のチャンネル(CH)番号に設定されていればよいことを保証します。メニューキー<  >を押してメニューC.Fnに入り、調整つまみを回転してCHを選択し、SETキーを押して、調整つまみを回転してチャンネルを選択し(01-32)、選択が終わったらSETキーを短く押してチャンネル設定を終了します。



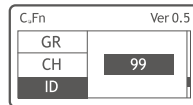
● グループ(GR)設定

メニューC.Fnに進み、調節つまみを回転してGRを選択し、SETボタンを押し、更に調節つまみを回転してグループ選択(A/B/C/D/E)を行い、選択が終わったらSETボタンを短く押してグループ設定を終了します。



● ID設定

メニューC.Fnに進み、調整つまみを回してIDを選択し、SETキーを押し、調整つまみを回してIDを選択し(OFF/01-99)、選択したらSETキーを短く押してID設定を終了します。



メモ：マスターユニットがこの機能を備えている場合にのみ使用できます。

⚠ 神牛2.4Gワイヤレスフラッシュ漏れの原因と解決法:

1. 外部環境2.4G信号干渉 (無線基地局、2.4Gワイファイルーティング、Bluetoothデバイスなど)

- フラッシュャーのチャンネルCH設定 (+10を推奨) を調整して、干渉のないチャンネルを見つけて動作するか、動作しているかを確認してくださいをクリックすると、他の2.4Gデバイスの電源がオフになります。

2. フラッシュバックが発生しているかどうか、またはその速度が連写速度に追いついていないかどうか (フラッシュ準備完了表示灯が点灯しているかどうか)、過熱保護などの異常な状態にないかどうかを確認してください

- フラッシュパワーのギアを下げてください。TTLモードの場合はMモードに変更してみてください (TTLモードではプリフラッシュが必要です)。

3. フラッシュャーとフラッシュの距離が近すぎませんか (距離が0.5m未満)

- フラッシュャーで近距離無線モードをオンにしてください。
X1シリーズ: LEDが2回点滅するまで、フラッシュボタンを押したままにして電源を入れます。
X2、Xproシリーズ: C.Fn-DISTを0~30mに設定します。

4. 起動装置と受信側機器が低電力状態にありますか

- 電池を交換してください (フラッシュ電池は1.5V次のアルカリ電池をお勧めします)。

C.Fn: カスタム機能の設定

- メニューキー<  >を押してメニューC.Fnに移動し、調節つまみを回転してカスタム機能記号を選択します。
- SETキーを押してハイライトし、調節つまみを回転させて設定します。
- セットしたらSETキーを押して確定し、メニューキー<  >を押して終了します。

自定義機能マーク	機能	設置	設置説明
MODE	フラッシュモード	M	手動フラッシュ
		TTL	オートフラッシュ
PHOTOC	S1/S2光コントロールフラッシング	OFF	点滅をオフにする
		S1	S1光コントロール同期フラッシュ誘導
		S2	S2光コントロールプリフラッシング防止
WL	ワイヤレス設定	ON	ワイヤレスオン
		OFF	ワイヤレスオフ
GR	グループの設定	A/B/C/D/E	A/B/C/D/Eのいずれかの文字を選択可能
CH	チャンネル設定	1~32	1~32のいずれかの数字を選ぶことができる
ID	IDの設定	OFF/01~99	OFFまたは01~99のいずれかの数字を選択できます
STBY	自動シャットダウン	OFF	閉じる
		30min	30分/60分/90分以上フラッシュを使用
		60min	していない場合は、自動的にシャットダウンに移行します
		90min	

強制シャットダウン機能

ライト本体が故障したり、動作不能になったりすると、針をリセット孔に挿入してキーをトリガし、強制シャットダウン機能を実現する。

熱保護機能

最大フラッシュをオンにし、フラッシュ回数が50回に達すると、ディスプレイに熱保護マークが表示され、フラッシュ本体が過熱していることをユーザーに警告する。マクロフラッシュを一時的に動作させておくことをお勧めします。

リセット機能

 メニューキーと  スタイリングライトキーを同時に長押しして、ライトボディのパラメータリセット機能を実現します。

仕様パラメータ

モデル	Mf12
内蔵リチウムバッテリー	3.7V/1700mAh
CCT (flash)	6300K±200K
CCT (LED)	6000K±300K
フラッシュインデックス (1/1レンジ)	GN=16.1 (±0.1)
フラッシュパワー	12W
フラッシュギア	8 [^] : 1/128~1/1
LEDスタイルライトの輝度	1~10レベル
ディスプレイ	OLED LCD
光コントロールフラッシング	調光同期フラッシング/S2調光プレフラッシング防止 フラッシング
フラッシュモード	TTLモード、Mマニュアルフラッシュモード
じぞくせんこうじかん	1/1200s~1/34000s
2.4Gワイヤレス	オン/オフ
チャンネル	32チャンネル: 1~32
グループ	5つのグループ: A/B/C/D/E
ID	OFF/01~99
でんそうきょり	30m
TYPE-C充電電源	5V2A
ぜんでんりょくフラッシュかいすう	約500回
回復時間	約0.01~1.7秒
バッテリー残量表示	モニタの右上に待機電力が表示されます
省エネ	30分/60分/90分:30分/60分/90分以上フラッシュを 使用していない場合は、自動的にシャットダウン手順 がOFFになります、自動シャットダウンモードをオフ にすると、省電力性能が無効になります
寸法	
ボリューム	81*76.5*64.3mm
正味重量	≈144g

メンテナンス

- フラッシュの作動中、異常を発見した場合は、直ちに電源を切り、原因を究明します。
- ライト本体は振動を避け、常に表面のほこりを落とすように心がけてください。
- ライト本体の少しの発熱は正常な現象で、特に必要がない時、連続して点滅しません。
- フラッシュのすべての修理は、すべて本工場が指定した部品の修理部が担当します。
- 1年保証、ライトチューブなどの消耗品は1年保証の対象外です。
- このフラッシュを無断で点検した場合、その1年間の保証は解除され、修理には費用がかかります。
- 本品が故障したり、水に濡れたりした場合は、専門スタッフが修理した上でご使用いただけます。
- 予告なしに変更されることがあります。

製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者 情報	名前	電話番号
	連絡先	
販売店 情報	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

適用な製品

本書類は『製品修理保証情報』(後記の説明をご覧ください。)に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品(セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等)はこの修理保証承諾に属していません。

修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授權されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効的な修理保証カードを提供して修理保証が得ることができます。有効的な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できますが、それはわれわれの義務となりません。

修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間に超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適當に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適當に外部設備を挿したり抜いたりすること；落ちることや押しつぶすこと；不適當な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと；③神牛が授權されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のもともとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法な授權、標準街、公開されていないで発行するソフトウェアなどを使用して起こした故障や損壊；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自体で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況であれな、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外での部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることについて、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません。

製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器、電源線、同時線などの 帯電性能の部品	12	顧客より修理出し
その他	フラッシュチューブ、造形の 電球、ケース、保護カバー、ロッ ク装置、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号：+86-755-29609320-8062